

Press Release(H31/1/9)

特別支援学級生徒と考える ぼくらの主権者教育

～主権者として必要な資質・能力の活用を目指して～

岐阜大学教育学部附属中学校において、特別支援学級の生徒が、将来必要となる主権者として必要な資質・能力の活用を目指した授業を、下記のとおり実施いたします。

この授業は、福井大学 橋本康弘教授・岐阜県弁護士会・岐阜大学 須本良夫教授との協働研究授業です。同校特別支援学級は、日本の附属学校全体でも数校しかない、校内特別支援学級です。通常学級の生徒との交流を通して、義務教育9年間で将来必要となる力の育成を行っています。

今回の授業では、同校生徒が作成した商品の販売場所を、生徒がその理由と根拠に基づいて考察し、発表していきます。これは、主権者教育のベースになる「判断」や「考察」する力を育成します。特別支援学級生徒にとって、共生社会の中で主権者として自立し生きていくことの重要性がいわれる昨今、必要な力を明確にし育成することは重要です。特別支援教育のこれまでの教育内容を深化させ、資質・能力の育成を探ります。

つきましては、当日の取材についてよろしくお願ひします。

- (1) 日時・場所：2019年1月30日(水) 13:55～14:45
岐阜大学教育学部附属中学校新館一階多目的学習室(岐阜市加納大手町74番地)
- (2) 対象：中学校3年生
- (3) 研究のねらい：知的障害を持った子どもたちに対する主権者教育の開発・実践
(福井大学・橋本康弘教授の研究の一環)
- (4) 授業者：野川 三徳(岐阜大学附属中学校養護学級担任)
- (5) 授業協力：岐阜県弁護士会(武藤玲央奈、小森正悟、小木曾琢也、伊藤健文、
乾美恵子、石田英高)

岐阜大学教育学部附属中学校長 須本良夫

【本件に関する問い合わせ先】

岐阜大学教育学部附属中学校長

岐阜大学教育学部社会科教育講座 教授 須本 良夫

TEL：058-293-2233

E-mail：sumo440@gifu-u.ac.jp